

市民の目線で 市政をチェック 市民の願いを市政に

ご挨拶

1995年に議会に送って頂いて28年が経過しました。人の痛みに心を寄せ、苦難解決に全力で頑張っ参りました。市役所の役割は、「住民の福祉の増進を図る」ことです。私たちが納めた税金が無駄に使われていないか、しっかり市政をチェックし、市民の願いを市政に届け実現することだと考えています。

日本共産党

市会候補

大軍拡ストップ

宮本しげお

みやもと
繁夫

お約束

- 水道料金の減免制度を延長。
- 学校給食の無償化など学校教育の保護者負担の軽減。
- 18歳まで医療費負担ゼロ。
- 介護保険料の引き下げと介護サービスの利用者負担の軽減。
- 予約制のりあい(デマンド方式)タクシーの導入で市民の移動支援。
- 近鉄小倉駅地下通路のバリアフリー化と駅前広場の整備促進。
- 西小倉の新しい学校は、防災の拠点、広いグラウンド、給食は自校方式。
- 住宅リフォーム助成で地域経済の活性化と温暖化ストップ。
- 防災対策強化で、水害に強いまちづくり。私道の整備への支援。

【現在】宇治市議会議員7期、文教福祉常任委員、議員団長、やましろ健康医療生活協同組合常務理事、党洛南地区委員会副委員長。

【略歴】立命館大学卒業、宇治市役所に24年勤務(ケースワーカーなどに従事)、市議会副議長、議会運営委員長、市民環境常任委員長、決算特別委員長、政務活動費の使途に関する調査(100条調査)特別委員長、宇治市職員労働組合副委員長、西小倉中学校育友会長、西宇治高校・久御山高校PTA役員、若葉台自治会会長。

宮本しげお選挙事務所 宇治市小倉町南浦80-28 TEL・FAX.0774-20-7520

頒布責任者/石川和司 宇治市宇治里尻17 印刷所/(有)ニュープリント 京都市右京区西京極堤下町12-2

証紙

『水道料金減免の延長』『介護料金など負担軽減』『18歳までの医療費・給食費の無料化』を

大軍拡より平和・命・暮らし 物価高対策、賃金・年金の引き上げ あなたの願いを日本共産党へ！

岸田政権は、「専守防衛」を投げ捨て、敵基地攻撃能力を保有するために、5年間で43兆円に軍事費を増やす大軍拡に突き進んでいます。その財源は、増税や借金、暮らし予算の削減で確保するとしています。

党をつくって101年、反戦平和をつらぬいてきた日本共産党は、自民・公明・維新が進める大軍拡をストップするため全力をあげます。大軍拡よりも暮らしと営業を守り、住民の福祉を良くする自治体本来の仕事をすすめます。

選択の基準
ハッキリ

太閤堤跡の歴史公園は5000万円赤字 北陸新幹線「京都延伸」に2兆円以上

80億円規模の歴史公園事業は、2021年10月オープンからの半年間で約5,000万円の赤字。ミュージアムの入館者数は、見込みに対して14%の8083人（無料入館者含む）でした。

日本共産党は、予算削除を3度提出。契約にも反対。しかし、最終的にオール与党が予算と契約に賛成し押し進められました。

自民・公明が強引に決定した北陸新幹線の京都地下延伸を維新も一緒に推進。

日本共産党は、過大な税金投入と環境破壊の計画の中止を求めてきました。住民の運動とも連携し、当初の2023年度春の着工を許していません。

開発優先のオール与党か、市政をチェックし、税金のムダ使いを許さない日本共産党か。選択の基準がハッキリしてきました。

宇治市議会での態度は

日本共産党

暮らし応援のため財源も示し具体的提案

	日本共産党		自民、公明、維新・宇治党、うじ未来（立憲・国民など）
条例案・修正案	水道料金の減免（減額）を半年間に延長〔23年3月〕	市の財政調整基金33億円から2億円活用	<div>×</div> <div>理由も述べず 全てに反対</div> <div>市民の暮らし応援の願いに背を向ける</div>
	子どもの医療費18歳まで無料に〔23年3月〕	府の制度拡充による市の負担軽減分6千万円などを活用	
	国保料の1世帯1万円値下げ18歳までの国保料無料に〔23年3月〕	取り止めた繰入金2億円、約8億円の基金を活用	
意見書案	インボイス制度の実施中止を求める〔23年3月〕		
	統一協会の疑惑究明と被害者救済を求める〔22年9月、12月〕	国会・政府に対して、宇治市議会として意見を提出するため提案	
	物価高騰に対して、消費税5%への緊急減税及び、賃金、年金の引き上げを求める〔22年9月〕		

歴史公園など大型開発に税金を注ぎ込む 自民 公明 維新 などのオール与党議員が
物価高騰対策、暮らし・子育て・福祉などの願い実現の 日本共産党議員か